

学 位 論 文 要 旨	
氏 名	邱 振 勉
題 目	中国における農地集団所有制のもとでの農地貸借のメカニズムに関する研究 —福建省を事例として— (A Study on the Mechanism of Land Rental under Collective Land Ownership System in Rural China: A Case Study in Fujian Province)
<p>中国では三農問題（農村経済の立ち遅れ、農業生産性の低さ、農民所得の低さ）の解決が農業政策の大きな課題となっており、政府は2008年から2020年までに農民所得を2倍にする目標を設定しているが、それには著しく零細な経営耕地面積の拡大が不可欠である。中国では農地は集団所有制のもとにあり、規模拡大の主体は貸借である。そこで、本研究では農地貸借と農外就業、換金作物の導入、農業機械の使用等との関係に焦点を当て、農地貸借のメカニズムを解明することを目的とする。研究方法としては、農地の集団所有制の変容を整理するとともに、2005年と2007年に福建省の2つの村を対象として実施したアンケート及びヒアリング調査に基づいて農地貸借のメカニズムを分析した。</p> <p>中国における農地制度については、新中国建国以後の1950年の土地改革法によって概ね農民的土地所有となったが、1955年から農地の公有制と集団経営化が図られた。1978年には農家請負制度の実施によって農民に農地の使用権が配分された。1984年に使用権の移動が認められ、さらに1993年には使用権の有償での譲渡が認められた。2003年には農村土地請負法が制定され、農地使用権についての総合的な法的整備がなされた。こうした農地制度のもとで農地の貸借について福建省の二つの村で調査を行った結果、次のような動きが明らかにされた。</p> <p>近年、農地の貸借は急速に増加しつつあり、その背景に土地再配分の停止、都市部の経済発展による兼業機会の拡大、商品作物の導入、穀物契約買付任務の廃止、農業機械の導入などがある。土地再配分の停止によって農地の使用権を長期的に維持することができるようになった。兼業機会の拡大は自己保有の農地を貸し出す条件を広げている。穀物契約買付任務の廃止と商品作物の導入は、農民の自主的な経営と農作物の販売による現金収入の確保を可能にし、耕地面積を拡大することへのインセンティブを生み出している。さらに、農業機械の導入は労働力の制約を弱め、経営耕地面積の拡大を可能にしている。</p> <p>一方、農地の貸借を制約する要因も存在する。その一つは農地使用権に対する農民の不安が今なお払拭されていないことである。早い時期に農地の再配分をやめ、使用権を確定した村民グループでは農地貸借の割合が高いが、そうでないグループでは低かった。使用権が不安定なことによる農民の警戒心の現れであると考えられる。もう一つは雇用兼業の不安定性である。自営兼業者においては農地を貸し出す割合が高いが、雇用兼業労働者にあつてはその割合は低い。これは雇用兼業労働者の就業が不安定であり、病気や歳を取った後の生計の基盤として農地を簡単には手放せない状況にあることの反映と考えられる。</p> <p>これらのことから、農地の貸借をさらに拡大するためには基本的には農地の使用権を保障する制度をより強化し、安定させるとともに、その移転に関する制度を整備することが重要な課題である。同時に農地の貸借を促す要因となる農外における就業条件の改善、商品作物の技術指導と流通機構の整備も重要である。</p>	

学 位 論 文 要 旨	
氏 名	Zhenmian Qiu
題 目	<p>A Study on the Mechanism of Land Rental under Collective Land Ownership System in Rural China: A Case Study in Fujian Province</p> <p>(中国における農地集団所有制のもとでの農地賃借のメカニズムに関する研究 —福建省を事例として—)</p>
<p>Three agricultural issues, slow improving rural economy, low productivity and farmers' poverty, have been the key foci of agricultural policies in China. The government has set a goal to double farmers' income from 2008 to 2020. It is indispensable to enlarge the cultivated land scale, while farm lands are highly fragmented in China. Under the collective land ownership system in China, land rental is a primary measure to achieve a larger scale of production. This study aims to clarify the mechanism of rural land with a focus on the relationship between land rental with off-farm employment, the introduction of cash crops and the use of agricultural machinery. Following a literature research on the changes of land agricultural policies in new China period, I analyze the land rental mechanism based on questionnaire and interview researches, which have been conducted in two villages in Fujian Province in 2005 and 2007.</p> <p>With regard to rural land tenure, land was privately owned by the farmers after the establishment of new China according to the Land Reform Law in 1950. But after 1955, the collective land ownership system and collectivization of agriculture were set. Household Responsibility System adopted in 1978 gives farmers the use right to operate the land separately. The transfer of use right was approved in 1984, and then transfer of land with payment was approved in 1993 by the government. Rural Land Contracting Law was issued in 2003, and farmers' use right to the contracted land became legally secured. Under such land tenure system, I conducted field surveys to study on the land rental situation in Fujian Province. Findings of this study are as follows.</p> <p>In recent years, the scale of rural land rental has been rapidly increased. The increasing tendency might be attributed to the stop of land reallocation, the increase of off-farm work opportunity brought with a fast urban economic development, introduction of cash crops, the stop of mandatory state grain procurement quotas, and use of agricultural machinery, and etc. More off-farm work opportunities provide a precondition of land rent out. The stop of state grain procurement quotas and the introduction of cash crop make it possible that farmers can voluntarily manage and sell their agricultural products to earn cash income. The increase of income encourages the farmers to enlarge cultivated land scale. Moreover, agricultural machinery can release the farmers from labor shortage and realize the larger scale production.</p> <p>However, there also exist constraint factors of land rental. One is that farmers' fear towards the unsecure land use right has still not been wiped away. There was a higher tendency of land rental in the villager group where land reallocation was abandoned earlier and farmers' use right to the land was ensured. In contrary, the percentage of land rental was lower. It indicates that farmers were cautious about the unstable land use right. The other is the unstable off-farm work. It was found that a higher percentage of self-employment farmers and a lower percentage of wage earners rent out the land. It was assumed that land has been considered as the guarantee of life if the wage earning farmers lose the job or get aged because their off-work was not secured.</p> <p>Thus, in order to further increase land rental it is essential to legally secure and stabilize the use right of rural land and to establish better land rental system. It is an urgent issue on how to improve off-farm working condition, and it is also important to provide with the technical instruction and to improve the distribution system for cash crop planting.</p>	

学位論文審査結果の要旨	
学位申請者 氏 名	邱 振勉
審査委員	主査 琉球 大学 仲地 宗俊
	副査 琉球 大学 内藤 重之
	副査 鹿児島 大学 秋山 邦裕
	副査 琉球 大学 仲間 勇栄
	副査 佐賀 大学 白武 義治
審査協力者	
題 目	<p style="text-align: center;">A Study on the Mechanism of Land Rental under Collective Land Ownership System in Rural China: A Case Study in Fujian Province</p> <p style="text-align: center;">中国における農地集団所有制のもとでの農地貸借のメカニズムに関する研究—福建省を事例として—</p>
<p>中国では三農問題（農村経済の立ち遅れ、農業生産性の低さ、農民所得の低さ）の解決が農業政策の大きな課題となっており、政府は2008年から2020年までに農民所得を2倍にする目標を設定している。しかし、農民の経営耕地面積は著しく零細であり、農業の生産性を向上させ農民所得を引き上げるには、経営耕地面積の拡大が重要な課題である。中国では農地は集団所有制のもとにあり、農民には使用権が付与されその移転が認められている。したがって農地の移動は主に貸借によってなされている。そこで、本研究では農地貸借の実態とその要因との関係を通して、農地貸借のメカニズムを解明することを目的としている。研究方法としては、新中国建国以降の農地制度の展開を整理するとともに、2005年と2007年に福建省の二つの村において210戸の農家を対象に実施したアンケート及びヒアリング調査に基づいて農地貸借のメカニズムを分析している。</p> <p>中国における農地制度については、1950年の土地改革法によって農民的土地所有となったが、1955年から農地の公有制と集団経営化が図られた。1978年には農家請負制度の実施によって農民に農地の使用権が配分された。1984年に使用権の移転が認められ、1993年には</p>	

使用权の有償での移転が認められた。さらに 2003 年には農村土地請負法が制定され、農地使用权についての総合的な法的整備がなされた。こうした農地制度のもとで農地の貸借について調査を行った結果、次のような動きが明らかにされた。

近年、農地の貸借は急速に増加しつつあり、その背景に、都市部の経済発展による兼業機会の拡大、商品作物の導入、農業機械の導入などがある。兼業機会の拡大は自己保有の農地を貸し出す条件を広げている。特に自営兼業者において農地を貸し出す割合が高い。商品作物の導入は政府による食糧買付の市場化とあいまって、農民の自主的な農作物の販売による現金収入の確保を可能にし、耕地面積を拡大することへのインセンティブを生み出している。農業機械の導入は労働力の制約を弱め、耕地面積の拡大を可能にしている。さらに、早い時期に農地の再配分をやめ使用权が長期的に付与された村民小組では、再配分が行われている村民小組に比べて農地貸借の割合が高い傾向がみられた。農地の使用权の安定性も貸借を促進する大きな要因となっていると考えられる。

しかし一方、農地の貸借を制約する要因も存在する。その一つは農地使用权に対する農民の不安がなお払拭されていないことである。再配分が行われている村民小組において貸借の割合が低いことは、使用权が不安定なことによる農民の警戒心の現れであると考えられる。もう一つは雇用兼業の不安定性である。雇用兼業労働者において自営兼業に比べて農地を貸し出す割合が低いことは、雇用兼業労働者の就業が不安定であり、病気や歳を取った後の生計の基盤としての農地を簡単には手放せない状況にあることの反映と考えられる。

以上の考察の結果、次のことが明らかにされた。農地の貸借は、農地の使用权を長期的に付与し食糧買付の市場化などの制度的改革と、兼業機会の拡大、商品作物の導入、機械の導入などによって増えつつあるが、一方ではその動きを制約している要因も存在していることである。農地の使用权の再配分が村のリーダーに委ねられていることから、その安定性に不安を抱いている農民がなお多く、また雇用兼業労働者の就業条件が不安定である。

本研究は、中国における農地貸借のメカニズムを綿密な実証研究によって明らかにしており、特に、農地の使用权の保証の程度が貸借の動きに大きな影響を与えていること、兼業の種類によって農地貸借の動きが異なっていることを明らかにしたことは、新たな知見である。これらの点は、中国における農地貸借を推進するうえで、農外における就業条件の改善や商品作物の生産と流通基盤の整備を進めるとともに、農地の使用权を保証する制度をより強化しその移転に関する制度を整備する必要があるといった政策的にも有益な示唆を与えている。

以上のことから、本論文は博士（農学）の学位を与えるに十分な価値を有するものと認められた。

最終試験結果の要旨	
学位申請者 氏 名	邱 振勉
審査委員	主査 琉球 大学 仲地 宗俊
	副査 琉球 大学 内藤 重之
	副査 鹿児島 大学 秋山 邦裕
	副査 琉球 大学 仲間 勇栄
	副査 佐賀 大学 白武 義治
審査協力者	
実施年月日	平成 21年 6月 27日
試験方法 (該当のものを○で囲むこと。) (口答)・筆答	
<p>主査及び副査は、平成 21年 6月 27日の公開審査会において学位申請者に対して、学位申請論文の内容について説明を求め、関連事項について試問を行った。具体的には別紙のような質疑応答がなされ、いずれも満足できる回答を得ることができた。</p> <p>以上の結果から、審査委員会は申請者が博士(農学)の学位を受けるに必要な十分の学力ならびに識見を有すると認めた。</p>	

学位申請者 氏名	邱 振勉
<p>「質問 1」 B と T 二つの村を調査されたということですが、農地集団所有制というのは B と T 村の集団所有ということですか。</p> <p>「回答 1」 農地集団所有制の主体は主に村及び村民小組所有の二つがあります。調査地では、B 村は村所有で T 村は村民小組所有です。</p> <p>「質問 2」 農地の貸し借りは同じ村の中でなされますか。別の村の農家との間にも貸し借りがありますか。</p> <p>「回答 2」 同じ村内でも、別の村との間でも貸し借りはします。ただ、ほとんどが知り合い、親戚や同じ村の人の間での貸し借りです。大手の会社に貸すケースもありますが、村民は大手会社に貸したがりません。土地を取り戻せない恐れがあるためです。</p> <p>「質問 3」 農地の貸し借りシステムがよくわかりません。例えば、20 年か 30 年の借地期限はありますか。貸し借りは face to face で決めると書いてありますが、説明してください。</p> <p>「回答 3」 調査地では借地期間は普通 1 年くらいです。借地期間ははっきり決まっていないケースもよくあります。土地を他の人に貸して、都市に出稼ぎに行きます。貸す側は農地が返ってこないという不安があるので、長くは貸したくはありません。仕事が不安定なため、いつか帰ってきて、すぐ土地を返してもらいたいためです。きちんとした契約がない場合が多く、今後は制度化することが必要だと思います。</p> <p>「質問 4」 農地集団所有を英文で collective ownership と書いていますが、中国では所有という言葉がありますか。</p> <p>「回答 4」 中国では、所有の漢字が使われています。制度的には、村が集団所有権を持ち、使用权が農民に与えられ、経営は個別に行われています。これを請負制度と呼んでいます。請け負った土地の使用权は移転することも認められています。</p> <p>「質問 5」 村が農地の再分配権という権利を持っているということですが、農地の集団所有という場合、日本でいう所有とは異なっているのですか。</p> <p>「回答 5」 中国の法律では所有権と書いていますが、私的所有を内容とする近代的所有とは異なっていると考えられます。</p> <p>「質問 6」 Agricultural population とはなんですか。その定義を教えてください。</p> <p>「回答 6」 農業人口です。主に農業に従事し生活を農業で支えている人たちとそれによって扶養されている人たちを意味します。</p>	

「質問 7」 Machinery rental がありますが、借り手と貸し手はだれですか。

「回答 7」 個別の農家が機械を購入して、他の農家に貸します。

「質問 8」 機械を持っている農家は農地面積も大きいですか。中国の農村社会には階層がありますか。

「回答 8」 面積が大きい農家が機械を借りている傾向はありますが、機械をもっている農家が富裕層というわけでもありません。階層になるくらいの格差はありません。

「質問 9」 1 mu の面積はいくらですか

「回答 9」 15mu で 1 ヘクタール。1mu は 0.0667 ヘクタールです。

「質問 10」 英文の要約の中の、the stop of mandatory state grain procurement quotas とはどのような意味ですか。

「回答 10」 食糧契約買付の廃止の意味です。契約買付制度とは、米、小麦、トウモロコシなどの穀物や大豆などに関し、政府と農家とが作付前にその年に買い付ける数量、価格及び買付品目に関する契約を結び、この契約に従って買い入れる方式のことです。農家は作物品目が自由に選ばませんでした。

「質問 11」 農地の貸し借りが進むと、農地が集積して、農地を失う農家は貧しくなると考えられるが、この論文の問題意識との対応をどのように考えますか。

「回答 11」 今は、多くの農家が農業をやりながら、農業以外の仕事もしています。ほとんどの農家は 3mu、4mu くらいしかもっていません。この面積はきわめて零細であり、8 mu くらいの農地を経営しないと生活ができません。

「質問 12」 三農問題を解決するために農地の貸借の促進が必要であるという話の立て方ですが、そうすると、もっと農地の移動が多くなります。その管理についてどう考えますか。

「回答 12」 一つは、いま農地の再分配などは村ごとにやっているのですが、実際には村のリーダーが決めています。農民も土地の使用権に関する不安があるので、法律で村のリーダーの権限及び土地の再分配に関することをきちんと決めればよいのではないかと思います。二つ目は、貸し手側が土地を貸してから、返してもらえないときもあるので、そういう場合の対策も法的に決める必要があると思います。